



2026年4月27日

各 位

会社名 大豊工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 新美 俊生
コード番号 6470 (プライム市場・プレミアム市場)
問合せ先 経理部長 山本 要
電話番号 (0565)28-2225 (代表)

減損損失の計上及び連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期期末決算において、減損損失を計上することとなりましたので、お知らせします。これらに伴い、2025年10月30日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせ致します。

記

1. 2026年3月期 連結業績予想値と実績値の差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	117,000	2,300	2,500	1,300	45.90 円
実績値(B)	119,378	2,589	3,007	△5,967	△210.68 円
増減額(B)－(A)	2,378	289	507	△7,267	－
増減率 (%)	2.0%	12.5%	20.2%	－	－
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	112,789	610	910	△4,187	△145.69 円

2. 差異の理由

2026年3月期の通期連結業績につきましては、円安による為替影響に加え、自動車部品分野の売上が底堅く推移したことにより、売上高および営業利益は前回発表予想を上回りました。一方で、固定資産の減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を下回る結果となりました。

1) 減損損失の計上について

当社の自動車部品非軸受セグメント（ダイカスト事業および非軸受事業）においては、電動化の進展を見据え、短期集中的に設備投資を実施し、事業拡大を図ってまいりました。

しかしながら、事業環境の変化を背景とした受注の減少に伴う収益性の低下により、当初想定していた業績の達成に遅れが生じる見通しとなりました。

これを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検証した結果、固定資産の減損

損失 9,250 百万円を特別損失として計上しました。

2) 投資有価証券の売却について

2026 年 2 月 2 日付けで公表いたしました「公開買付けへの応募および特別利益の計上見込みに関するお知らせ」にてご案内したとおり、株式会社豊田自動織機の普通株式に対する公開買付けに応募し、2026 年 3 月 30 日付けで売却いたしました。なお、本公開買付けによる買付予定価格は、普通株式 1 株につき金 18,800 円から金 20,600 円へ変更になったことに伴い、投資有価証券売却益は 15 億 12 百万円から 16 億 58 百万円へ見直しております。

以上